

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たんぼぼ療育教室		
○保護者評価実施期間	2026年3月16日		～ 2026年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年3月24日		～ 2026年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	参考にしているメソッドをもとにした内容の療育活動を提供している。	取り入れているメソッドに関する情報誌や研修会、講演などを活用しながら提供サービスの内容に活かせるものを学ぶ体制を整えている。	活動中の変化を家庭でも共有してもらえるよう情報提供に努めながら、家庭や学校での過ごし方にも生かせるよう協力体制を築く方法を検討している。
2	集団活動を中心にしながらも、個別の利用者の状態等に合わせた対応を工夫している。	その日の学校やご家庭での様子もすぐに活動に反映できるように、聞き取りに心がけている。	職員がメソッドの内容に理解を深め、目的を共有できるようにコミュニケーションを図ることに努めている。
3	屋外活動、屋内活動、学習活動を組み合わせより効果的な取り組みを検討し、提供している。	利用者の落ち着いた状態を維持することを優先に、臨機応変に取り組み内容を調整している。	利用者の状態や体調の把握に努めながら、その維持、改善につながる取り組みの組み合わせを職員の態勢にも鑑みながら調整している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	歩行活動、DR活動、学習活動と大きな活動の枠組みが固定してしまう。	取り入れているメソッドの内容によるものが大きく、また、その中でも活動場所の制約によるところもある。	理学療法士によるサポートも受けながら室内での活動に当たっても内容に変化をつけられるよう工夫を検討していきたい。
2	天候による活動内容の変更を余儀なくされる時期は、より内容が固定化しやすい。	室内での活動の場合は密になることもあり、動きに制約も出て利用者が伸び伸びと動ける時間が作りづらい。	新たな活動場所の検討も進めつつ、十分な活動に取り組める環境を整えていく。
3	個別の保護者への情報提供には努めているが、保護者同士の接点を設ける機会がない。	日々の活動を通しての個別の情報提供に努める中で、どのような機会を設けるべきかの考えが定まるに至っていない。	内容に関する部分、オンラインなどの方法に関する部分を含め、今後の可能性を検討していきたい。